



—鬱陶しい梅雨の合間を縫って顔をのぞかせる太陽が、じわじわと到来しつつある本格的な夏を感じさせる6月。

各クラブでは新チーム体制がスタート、総体の成果と課題を受けて、じっくりとしたチーム作りのための月。学習面では毎日の6時間の授業に集中しつつ、早くも迫りつつある1学期期末考査に向けて力を蓄える充実期です。

新翔発「明るい町づくり」標語 ～アイデアとセンス豊かに6作品

<p>● さわやかな あいさつで始まる 今日がある 一年五組 山本 哲人</p>	<p>● あいさつは 笑顔をつくる 第一歩 一年一組 中宗根 彩那</p>	<p>● あいさつが 一人一人の いい言葉 二年二組 千葉 大輝</p>	<p>● あいさつで 生まれるキズナ ステキな輪 二年一組 下村 芹夏</p>	<p>● SNS なくてもつながる 皆の笑顔 三年三組 笹木 隆静</p>	<p>● こんにちは みんなの心 繋ぐ鍵 三年一組 廣崎 陽美</p>
--	---	--	---	---	---

新宮市校外指導協議会と新宮市立少年相談センターが主催して毎年新宮市内の小中高を中心に募集される「明るい町づくり」の標語。全校生徒の作品の中からそれぞれのアイデアとセンスを豊かかつ巧みに織り込んだ本年度の校内代表6点がまず決定。応募の後、8日に行われた審査会の結果、現代のスマホ事情をポジティブに切り取って優しく表現した3年笹木隆静君の作品、「SNS なくてもつながる 皆の笑顔」がみごと特選標語に選ばれました。

6作品とも「人との直接のつながりを大切に」というメッセージを5・7・5の定型表現に乗せた素敵な作品でした。

なお、7月1日には少年センターにて表彰式が行われます。

2年総学・高齢者施設「みさき」訪問 ～高齢者福祉の現場を体感

① 5月31日…1組【絵手紙】：6月の風物詩

② 6月7日…2組【各種ゲーム】：ジェスチャーや簡単な体操を挿入したゲーム、グループ対抗漢字の読みあてクイズ等を行いました。

③ 6月14日…3組【カラオケ】：生徒は高齢者の方々と交流しながら手拍子でサポート、最後は全員で新翔の校歌を合唱で披露しました。

④ 6月21日…4組【七夕飾り】：七夕の飾り用に星やスイカにペアで着色、生徒・高齢者それぞれの願い事を生徒が短冊に書き写しました。各クラスとも笑顔で交流しながら、高齢者福祉の現場をしっかりと体感できていました。

Don't give up!



This is our new FLT. ~アクティブに英語を学ぼう

本年度4月より本校を拠点校として配属された新しいFLT (Foreign Language Teacher 『外国語指導講師』)のJacob Martens(ジェイコブ・マーテンス)さん。アメリカ合衆国はイリノイ州・ゴースエン出身の26歳です。

一年〜三年までチームティーチングでコミュニケーション活動をふんだんに取り入れた楽しい英語の授業を展開してくれています。趣味は読書とハイキング。大学では歴史学を専攻したというインテリジェンスの持ち主でもあります。一方でカラオケではアニメ「ワンピース」のテーマ曲を日本語で完璧に歌いこなすなどおちゃめな一面も。

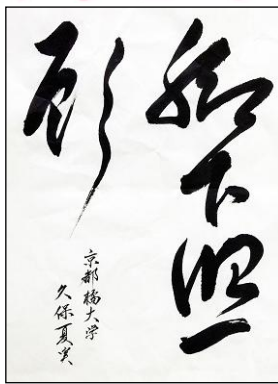
水・木・金曜がベース校新翔、月曜が新宮高校定時制、火曜がみくまの支援学校の勤務となっています。授業だけでなく休憩時間等にもジェイコブ先生と接することで生きた英語をアクティブに学びたいものです。ジェイコブ先生直筆の英語と日本語によるメッセージを紹介します。

I am very happy to be living here in Shinyu. The thing I most want to tell my students is "Don't give up!". There is no shortcut to learning a language. But if you study and practice a lot, you will definitely be able to speak English well.

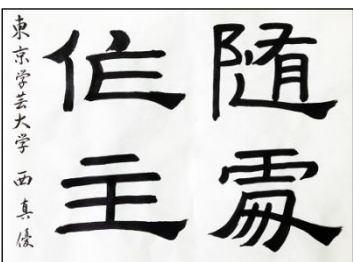
新宮に住む事はすごく大好きです。生徒へ一番伝えたい事は「あきらめるな!」です。外国語を学ぶ近道がありません。でも本気で勉強して、たくさん練習したら、きっと英語をペラペラ話すようになります。

教育実習生からのメッセージ ~凛としてさわやかに

8日(月)から19日(金)の2週間に渡り本年度教育実習が実施され、芸術科(書道)の西真優先生と同じく書道の久保夏美先生の2名の実習生が書道の授業やホームルーム活動等で研修を積み重ねました。まとめとして行われた研究授業でも、落ち着いて授業に取り組まれ、生徒達も凛とした雰囲気の中でしっかり集中して授業に参加できていました。2週間の実習を終えられるにあたり、メッセージと直筆の作品をいただきました。



「脚下照顧」(きゃっかしようこ) —「足下を照らし、よくかえりみよ」という事。誰も自分には甘い。自分のことは自分が一番よくわかっているつもりでも、人に言われないと気付かない所もたくさんあります。私もそうですが、生徒のみなさんも、まず自分の足下をよく見通して反省し、自分自身を見つめ直しながら過ごしていく謙虚な気持ちを持ち続けましょう。



「隨所作主」(ずいしょさくしゅ) —どこであろうと、どの道を選ぼうと、常に自分の本文を忘れず主体性をもって事にあたれば真実の道に通じるという意味。高校生の皆さんも近い将来、どんな立場に遭遇しようと、またどんな仕事に就こうとも逃げ腰にならず全力で努力しましょう。

●久保 夏美先生より

教育実習が始まる前は、緊張と不安でいっぱいでしたが、先生方はもちろん、生徒のみなさんの協力のおかげで、毎日がとても楽しく充実した2週間を過ごすことが出来ました。ありがとうございました。高校生活は長いようで、あっという間におわってしまうので、生徒のみなさんには毎日の残らないよう、勉強もクラブも何事にも全力で取り組んでほしいです。応援しています。頑張ってください!

●西 真優先生より

毎日楽しくて、あっという間に過ぎてしまった2週間でした。授業では真剣に書く生徒のみなさんの姿が印象的でした。人なつこくって挨拶もかわしてくれ、清々しい気分になれた毎日でした。勉強、クラブ活動だけでなく高校時代にしかできないことがたくさんあると思います。何事にも一生懸命取り組んで、一瞬一瞬を大切に学校生活を送ってください。

7月の行事予定

日	曜	行事	保健他	日	曜	行事	保健他
1	水		求人受付開始	16	木	午前中短縮 午後クラスマッチ	
2	木			17	金	40分4限授業 就職アゼンブリー③	
3	金	いじめアンケート① 就職アゼンブリー①		18	土		
4	土			19	日		
5	日	全商ビジネス文書実務検定		20	月	海の日	
6	月			21	火	クラスマッチ予備日 系列保護者説明会(1年)	
7	火			22	水	50分4限 午後保護者面談① ●図書館一般開放日	
8	水	3年実力テスト④ ●図書館一般開放日		23	木	50分4限 午後保護者面談②	
9	木	性教育講座(1年) 就職アゼンブリー 3年英語力調査テスト		24	金	1学期終業式 1. 2限授業 3. 4限清掃・終業式 就職アゼンブリー③ 保護者面談③(午後)	
10	金		漢字検定	25	土		
11	土			26	日		
12	日			27	月	就職ガイダンス(3年)	
13	月	非行防止講座(1年)		28	火	インターハイ開会式(ビッグ・ホール)	
14	火	進学指定校アゼンブリー		29	水		
15	水	午前中短縮授業 午後クラスマッチ		30	木	就職ガイダンス(3年)	
				31	金		

新翔旋風は起こったか？ H27総体結果報告

14クラブ計185人が挑んだ本年度の県高校総合体育大会。どの部も残念ながらインターハイ出場の夢は叶いませんでしたが、卓球、カヌー、水泳でのべ11名が優秀な成績を収め近畿大会へと駒を進めました。各体育系部活動の年間の総決算としてそれぞれの目標達成に向けて力強く取り組んだ結果を、各顧問の先生による大会総括とともにまとめました。

カヌー競技

[5月29日(金)・30(土)美山漕艇場]
WK-1500m
畑下 陽愛 (はたした ひより) 7位
3分06秒83→**近畿大会出場決定**

●部員1名の寂しい状況の中、2年1組畑下 陽愛がよく頑張りと、自己ベストタイムで、近畿総体出場を決めました。今後、6月の近畿総体、7月の国体県予選に向け、練習に取り組み、タイムを更新できるように頑張っていきたいと思います。

ソフトテニス男女

[5月26日(水)~かわてテニスコート]
男子
団体 1-2で紀史館高校に1回戦敗退
個人 各ペア1・2回戦敗退
女子
団体 0-3で向陽高校に1回戦敗退
個人 白倉・庄司組4回戦進出
他ペアは1・2回戦敗退

●男女とも2・3年生が少ない中、総体まで一緒に練習してきた。和気あいあいとテニスに向き合ってきたと思う。おかげで1年生はその雰囲気の中、クラブの時間を楽しめたと感じている。女子個人戦1ペアを除いては、満足な成績を残せなかったかもしれない。しかし、各人が得たものは少なくないはず。これからに期待する。3年生はこれで引退。お疲れ様でした。

サッカー

1回戦 5/23 (向陽高校会場)
対 向陽高校 1-0 勝利
2回戦 5/24 (桐蔭高校会場)
対 高野山高校 20-0 勝利
3回戦 5/30 (上富田スポーツセンター会場)
対 和歌山北高校 1-8 敗退

●1・2回戦ではチーム一丸となって戦うことができた。敗退した3回戦では、攻守の切り替えの速さや準備することの大切さなどの課題も見つかり、次の選手権に向けて頑張っていきたいと思います。



●熊野戦、ゴールめがけて激走するラグビー部三年濱君

陸上競技

[5月29日(金)~31日(日)紀三井寺陸上競技場]
男子1000m
予選4組6位 11.85 磯根 昂汰 (3年)
予選5組7位 13.00 加藤 輝星 (1年)
男子2000m
予選1組6位 27.55 加藤 輝星 (1年)
予選7組3位 24.89 磯根 昂汰 (3年)
男子8000m
予選2組7位 2:23.91 猪狩 涼太 (3年)
予選5組8位 2:43.28 井上 涼介 (1年)
男子15000m
予選5組 猪狩 涼太 (3年) 棄権 (体調不良)
女子1000m
予選5組7位 15.03 兼本志絵里 (1年)
女子15000m
予選1組14位 6:03.20 木本 静 (3年)

●残念ながら近畿大会への出場権を得ることはできなかった。また3年生にとっては最後の大会であったが、体調不良等もあり満足する結果は得られなかった。悔しい思いを奮闘に向けて、努力してもらいたい。1、2年生は今回の総体で得た経験をもとに、今後は地方大会を始め、7月の国体選考会、8月の新人大会に向けてしっかり練習に励んでいきたい。

弓道

[5月30日(土)、31日(日) 田辺市弓道場]
【団体戦】
男子Aチーム：60射16中で予選通過ならず。
【個人戦】
男女ともに予選通過ならず。

●初めての大きな道場での試合であり、雰囲気も飲まれてしまった部分がありました。しかし、いつも通りの射ができた場面もあり、成長を感じることができた試合であったと思います。8月の選手権大会も同道場で行われますので、今回の経験を次に活かしていきたいです。

卓球

[6月4日(木)~6日(土)和歌山県立体育館]
〈団体戦〉
男子：3回戦敗退 女子：1回戦敗退
〈ダブルス男子〉
笹木・楠本組：ベスト16 **近畿大会出場**
辻・山本組：1回戦敗退
〈ダブルス女子〉
山本玲・内田組：ベスト16 **近畿大会出場**
菊地・岩上組：1回戦敗退
〈シングルス男子〉
笹木：1回戦敗退 辻：1回戦敗退
楠本：3回戦敗退 山本啓：1回戦敗退
〈シングルス女子〉
菊地：1回戦敗退 岩上：1回戦敗退
山本玲：2回戦敗退 内田：1回戦敗退

●ダブルスでは、練習の成果を発揮することができ、男女1組ずつ近畿大会に出場することになりました。団体戦・シングルスでは、メンタル面の課題が露呈し、満足のいく結果を残すことができませんでした。しかし、男女揃っての団体戦出場は、何年振りかのことで、チーム力が向上した大会となりました。近畿大会では、弱点を克服し、上位進出を目指していきます。

ラグビーフットボール

[6月7日(日)熊野高校グラウンド]
春季選手権大会 10人制の部 決勝
対 田辺工業 33対7 勝利

●今まで、公式戦で1勝も出来なかったが、初勝利を収めることが出来た。相手に先制されて、試合の入りはすごく嫌な空気が流れた。しかし、そこから前半のうちに追いつき、逆転した。後半は、相手に攻められる場面もあったが大事なところはしるし、相手のミスを狙い、追加点を取り、引き離すことが出来た。選手たちは、すごく頑張っていた。特に、1本取られてから、もう得点を取られてはならないというディフェンスは次につながると思う。花園予選で1勝出来るよう、精進し努力していきたい。

ハンドボール

[6月3日(水)~6日(土) 橋本体育館]
 本選トーナメント1回戦
 新翔 対 粉河 22-50 敗退
 敗者選トーナメント1回戦
 新翔 対 海南 21-19 勝利
 敗者選トーナメント2回戦
 新翔 対 向陽 16-33 敗退

●本選では残念ながら勝利することはできなかったが、敗者選の海南戦では、同点で前半を折り返し、後半も一進一退の攻防が続く中で、最後に突き放しての勝利となった。何度かリードされる展開であったが、最後まで、粘り強く戦ったのが勝因だと思う。次の向陽戦では、前半は2点差で善戦するも、後半は力の差が出てしまったのが敗戦となった。新チーム後は、7名と少ない人数で頑張ってきた。途中、インフルエンザ感染に、2度も見舞われるというアクシデントがあったが、3年生は最後の大会で力を出し切れたと思う。新チームは2年1名、1年9名という若いチーム構成となるが、11月の新人大会に向け、頑張っていきたい。

空手道

期間：平成27年5月30日~31日
 会場：箕島高校

●男子団体組手へ数年ぶり出場を果たすが初戦で敗退。個人組手では2回戦での敗退が3名、3回戦で敗退が1名となった。少人数のクラブのため1人で練習することも多かっただけに、最後の大会となった3年生にとって、下級生やマネージャーと共に総体に向けて取り組んだ期間は良い思い出になってくれると信じている。

バレーボール

予選リーグ 5/30 (南部高校体育館)
 新翔高校2-0 桐蔭高校 勝利
 決勝トーナメント 5/31 (南部高校体育館)
 1回戦 新翔高校2-1 海南高校 勝利
 2回戦 新翔高校0-2 南部高校 敗退

●ベスト8を目標としていたので、チームとしては悔しい結果に終わった。今度の新チームもベスト8に入ることを目標とし、課題は多くあるが、まずは、基礎基本から土台を固めてチーム力を強化していきたい。

水泳

[6月12日(土)・13日(日) 秋葉山プール]
 400m 自由形
 8位入賞 5分22秒00 近藤 樂(2年)
 →近畿大会出場
 200m 個人メドレー
 6位入賞 2分44秒42 川上 優介(1年)
 →近畿大会出場
 男子800m フリール
 6位 10分16秒79
 富田 裕紀(3年) 森岡 久貴(3年)
 近藤 樂(2年) 川上 優介(1年)
 →近畿大会出場

●昨年、新翔高校として初めて公式戦でリレー3種目で、メンバーが揃い出場したリレーであるが、今年度は、昨年のリベンジを果たすべく、1年間部員全員が同じ思いで練習に取り組んできた。チームとして成功するには、個人一人一人が自己ベストを更新し、リレーでも貢献することが絶対条件であると言いレースに臨んだ。結果全員がほぼ全てのレースで自己ベストを更新し、中には大きく飛躍することができた選手も存在した。そのことが、個人レース2種目、リレー1種目の近畿大会出場を果たせた要因であると思う。特に800m フリールでは、メンバーだけでなく部員全員の思いが強く感じられたいいレースであった。
 7月23日からの近畿大会に向けて、泳ぎや練習を再度見直し、3年生が最後のレースとなる神戸の地で最高のレースができるよう練習に励みたいと思う。最後になりましたが、応援していただいた全ての方に感謝を申し上げます。ありがとうございます。

バスケットボール男子

[5月30日(土)河南体育館]
 1回戦 新翔 50対102 耐久

●今まで受身で気持ちが弱く、常に相手に先制点を許してしまい、立ち上がりで潰れることが多かったが、気持ちを強く持ちDFで相手にプレッシャーをかけることを意識し、先制点を取りますますのスタートを切ることができた。後半少しずつ点差は開いていったが、気持ちを切らすことなく最後まで戦った。3年生にとって最後の大会、公式戦1勝という目標は届かなかったが、3年生が果たせなかった目標を今度は1.2年生が引き継ぎ頑張ってもらいたい。

バドミントン

[5月30日(木)~6月1日(土) 新宮高校体育館]
 (男子団体)
 2回戦敗退 対紀央館 2-3
 (男子ダブルス)
 尾崎・天野ペア ベスト8
 大谷・林ペア 2回戦敗退
 前川・湊ペア 2回戦敗退
 阪本・田中ペア 2回戦敗退
 (女子ダブルス)
 泉・山内ペア 1回戦敗退
 (男子シングルス)
 尾崎 ベスト32 天野 ベスト4
 大谷 2回戦敗退 阪本 2回戦敗退
 田中 3回戦敗退 前川 2回戦敗退
 湊 2回戦敗退 丸亀 1回戦敗退
 (女子シングルス)
 泉 ベスト32 中村 1回戦敗退
 山内 2回戦敗退

●団体戦、個人戦ともにインターハイへの出場権を得ることができなかった。3年生にとっては最後の大会となってしまい、悔しい結果となった。ただし、内容としては、優勝したペアから1セット目を取るなど、結果以上に生徒たちは健闘を見せてくれる場面が多くあった。今回の総体で得た経験を活かして、8月末の近畿大会予選や1月の新人大会、来年6月の総体予選で結果を出せるよう、クラブ一丸となって練習に励みたい。

バスケットボール女子

[5月30日(土)河南体育館]
 1回戦 新翔 30対83 那賀
 (3-16/4-25/12/30/11-12)

●序盤から圧倒的な差があり、前半で7-41と大きく離され選手達はかなり苦戦をした。しかし、相手の攻撃にも耐え、粘り強くディフェンスをすることができた。また、練習の成果が発揮された場面もあり、選手は最後まで集中することができた。最終30対83で敗北はしたもの、経験者が少なく点数が取れなかったチームであるが、選手一人ひとりが『勝ちたい、点を決めたい』という強い気持ちで試合に臨んでおり、印象に残る試合であった。また次のチームにも期待したい。



硬式野球部壮行会 ~いざ出陣、100年目の夏

25日(木)5限、公式戦に挑む体育系クラブの取りとして、硬式野球部壮行会が体育館にて行われました。今年の夏の選手権大会和歌山大会は7月9日に開幕、新翔高校の初戦は12日(日)第3試合、紀比農芸高校と決定しています。壮行会では、力強いユニフォーム姿の15人の選手とマネージャー3人の計18名が全校生徒の前に整列。校長先生、生徒会長小西君からの激励の言葉を受けて、主将の3年舟崎浩也君が「夏に向けて冬場も

しっかりと鍛えてきた。チームカも上がってきたので、紀三井寺でしっかり発揮したい」と力強く応えました。



今年は夏の高校野球大会が1915年に大阪で始まってからちょうど100年目にあたる記念の年。無我夢中で白球を追いかける高校野球のすばらしさを改めて知らしめ、また学校や地元新宮を盛り上げ活気づけるためにも「100年目の新翔野球少年たち」の紀三井寺での大活躍に期待です。